

I いままでの
C コンセプト（概念）を
T とっ払え！！

～居宅ケアマネジャーの挑戦～

土肥ホーム 土肥戸田居宅介護支援センター
ケアマネジャー 吉川 友史

発表内容

- ケアマネジャーのやりがいと葛藤（課題）
- ICTを導入・活用した業務革新（取り組みと結果）
- まとめ

ケアマネジャーの仕事の魅力とやりがい

適切なケアマネジメントの実施 ⇒ プラン作成

その結果として

ご利用者の健康状態が良くなった時

望む暮らしの実現ができた時

ご利用者・ご家族から感謝を伝えられた時



ケアマネジャー月間スケジュール

入退院時対応

状態変化時の
サービス調整

更新研修

新規ケースの
相談・調整

認定調査

ご利用者の

動けば動

情報

書類

記録

気持ちに余裕がなく、
ご利用者ご家族と
向き合う時間が
十分に取れない・・・

ケアマネジャー 1人1台のスマホ所持



スマホを活用することで

LINE
WORKS



- ・ 事務所を連絡する代わりに電話でのやり取りができる

【事業所】

緊急でなければライン
ワークスに送ればお互い
の時間を奪わなくて済む

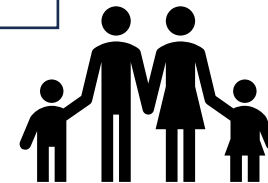
- ・ 事業所と家族のグループを作ることによって（送る・確認ができる）

- ・ 写真・動画でのやり取り確認が可能



【家族】

仕事をしていても自分のタ
イミングで発信・確認がで
きるのを助かっています



電話連絡、記録入力作業・情報共有等の時間が減少

負担感やストレスも減少

介護ソフト・『ケアカルテ』導入



ケアカルテを導入したことで

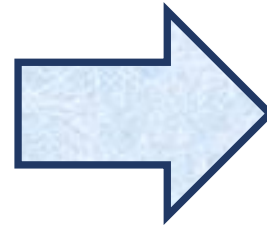


電子同意システムを活用することでプラン・利用票等の書類（事業所控え）を印刷作業が減った

土肥ホーム内ではケアカルテ上でのデータ連携を実施したことでペーパーレス化に成功した

各事業所にFAXや手渡しではなくメールでの書類送付のきっかけになった

BEFORE



AFTER



電子同意システム導入前



書類を用意して訪問準備

電子同意システム導入後の流れ



ご利用者分の予定を渡して完了！

電子同意システム導入後

スマホ一つで
同意完了



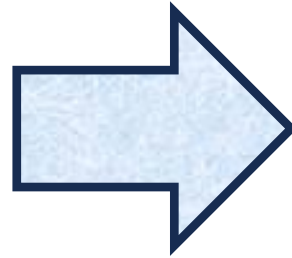
訪問をして書類の確認をしてもらう



BEFORE



AFTER



紙の利用量の変化

毎プラン作成時
約20枚

毎月ご利用者様
利用票 2～3枚

毎月
事業所への提供票
1～4枚

毎月の
レセプト明細書
給付管理表

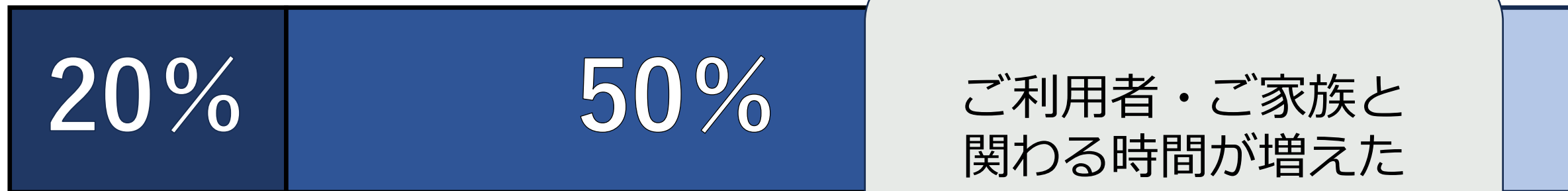


今年度
『ケースファイルのデータ化』
挑戦中

業務割合の比率変化

- 電話連絡・対応
- 書類作成・配布・綴じる作業
- 相談業務（寄り添い関わる時間）

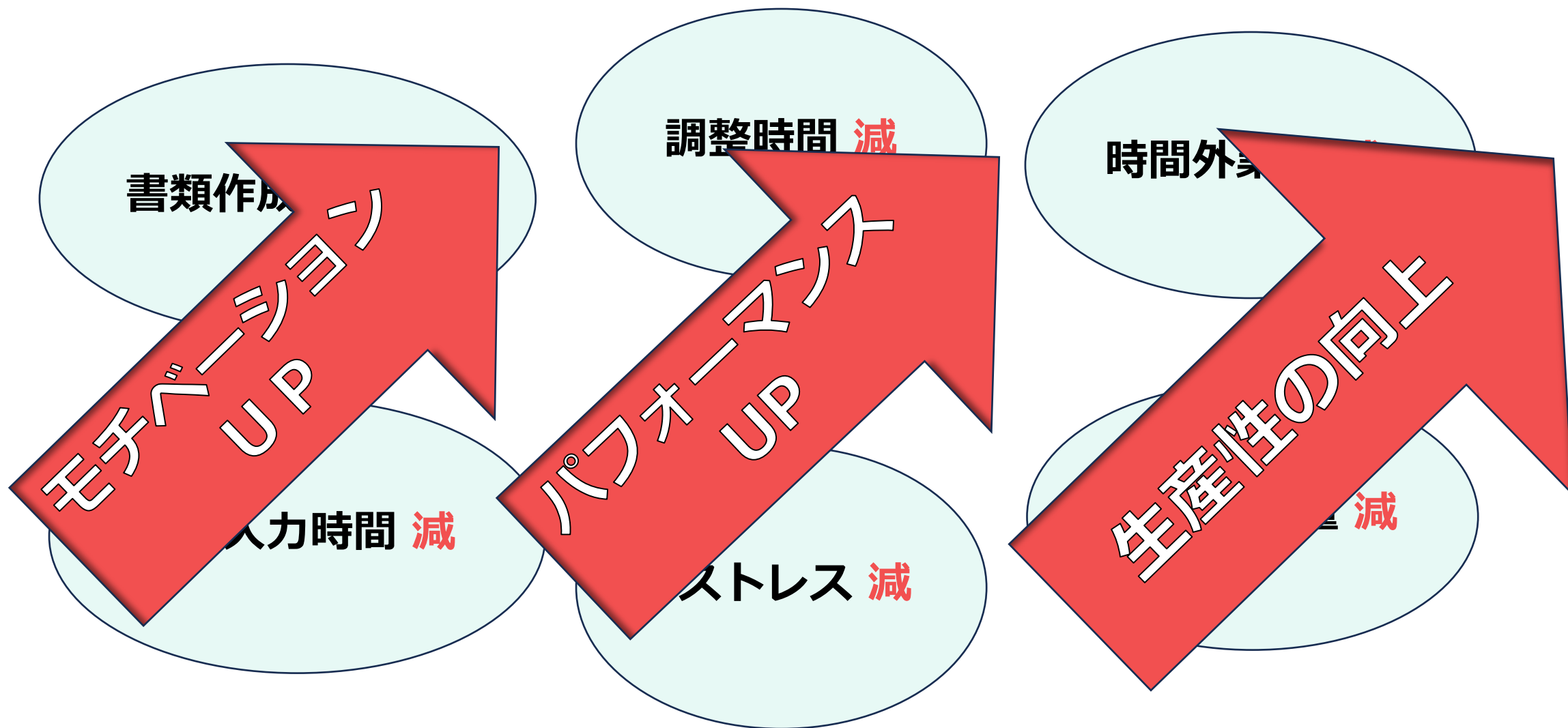
I C T 機器導入前の業務割合



I C T 機器導入後の業務割合（スマホ・ケアカ

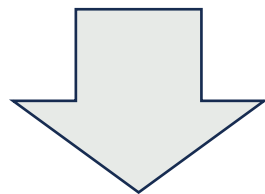


I CT機器を導入し、業務革新したことで



まとめ

- ・ご利用者・ご家族に寄り添う時間が増えた。
- ・今までは十分に聴き取ることができなかった
「思い」を知ることに繋がった。 『ケアの質の向上』
- ・この体験と経験を他事業所へ広めることでより良い連携に繋がり、
お互いの生産性が向上するように働きかけていきたい。



**ケアマネジャーとしての質の向上、
やりがいをより感じられるように挑戦をしていきたい。**

ご清聴ありがとうございました



